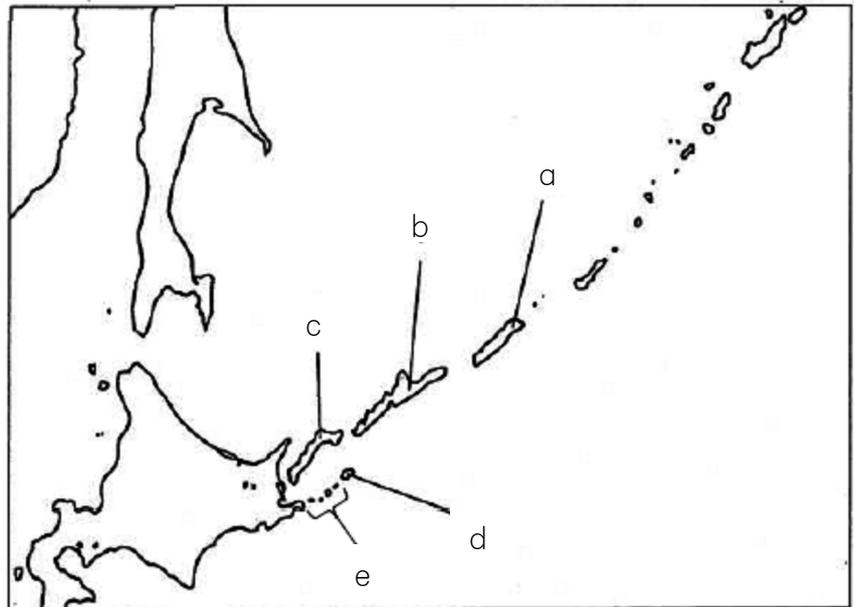


★先生方へ～解答欄の 1 ～ 10 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1 次の文の下線部 の位置を、略地図の a～e から選び、記号で書きなさい。

我が国は、1956年日ソ共同宣言に調印して、ソ連との国交を回復した。しかし、日ソ間の領土問題は解決しなかった。日ソ間の領土問題は、ソ連からロシア連邦に引き継がれたが、現在も未解決である。我が国の政府が、ロシア連邦政府に対して返還を求めている、我が国固有の領土である北方領土は、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島からなっている。

[略地図]



1

2

次の問題に答えましょう。

(1) 次の文中の①、②に当てはまる語句を書きなさい。

江戸時代に、将軍しょうぐんから1万石以上の領地をあたえられた武士を大名だみょうといい、その領地と支配のしくみを(①)といいます。

江戸幕府は、大名の反抗はんこう けいかいを警戒けいけいして(②)という法律ほうりつを定め、大名が許可しよなく城を修理したり、大名どうしが無断で縁組えんぐみをしたりすることを禁止しました。

2
① 藩

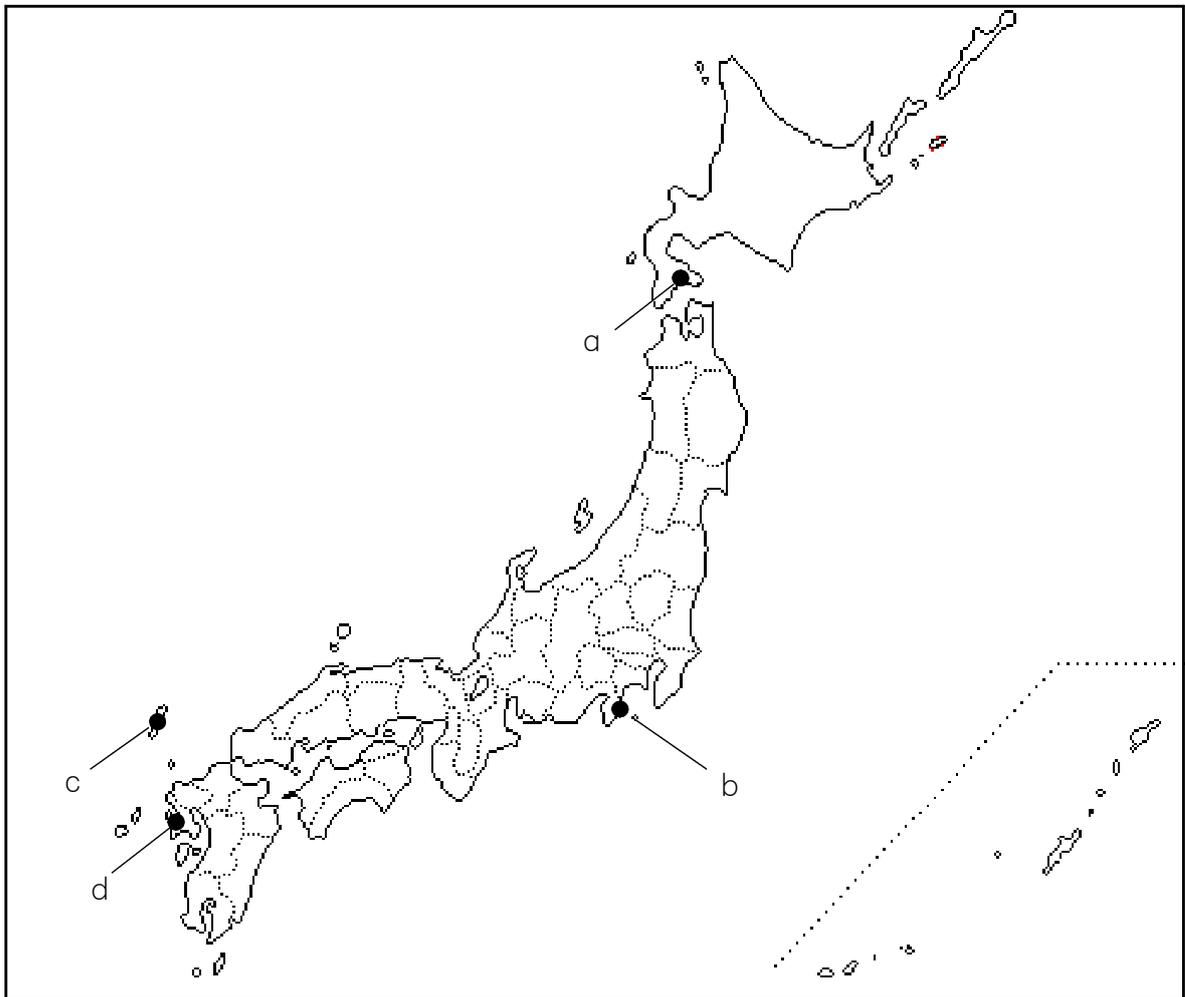
3
② 武家諸法度

(2) 江戸時代、ヨーロッパの国々のなかでは、オランダの商船だけが貿易を許されていましたが、鎖国下の日本の中でオランダとの貿易の窓口になっていた場所を、下の略地図中のa～dから一つ選び、記号で答えなさい。

aは函館、bは下田、cは対馬、dは長崎です。

鎖国下での対外関係は、長崎でのオランダや中国との交易の他に、対馬を通しての朝鮮との交流、アイヌの人々の北方との交易など、統制の中にも交易や交流が見られました。

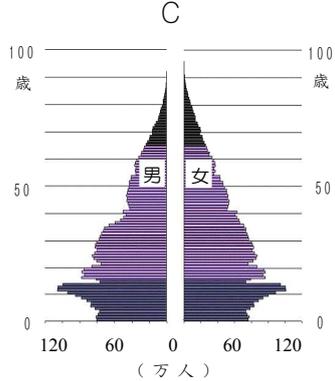
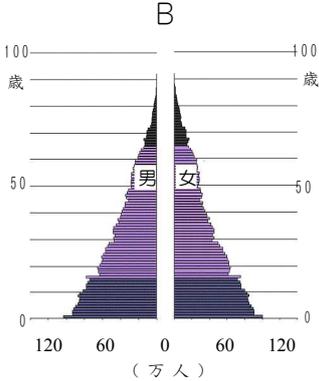
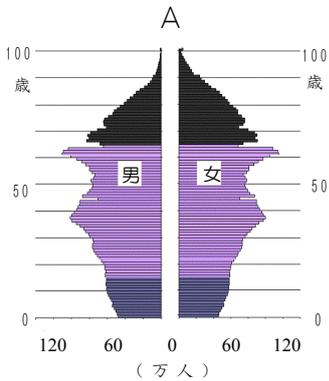
4
d



3

A～Cのグラフは、日本のある年の性別・年齢別の人口構成を示したものです。次の問題に答えましょう。

ねんれい



(総務省統計局「平成 22 年国勢調査」から作成)

(1) A～Cのように性別・年齢別の人口構成を示したグラフの名前を書きなさい。

5 人口ピラミッド

(2) A～Cのグラフを左から年代の古い順に並び替えなさい。

6 B → C → A

(3) 我が国は現在、大都市に人口が集中する一方で、農村や山村、離島では人口が減少し、経済活動がおとろえ、公共交通機関がなくなるなど、地域社会を維持する機能が弱くなっている地域が見られますが、このような地域を何というか書きなさい。

7 過疎 (地域)

Aのグラフは2010年、Bのグラフは1935年、Cのグラフは1960年のものです。

日本の人口ピラミッドは、Bのように年齢の低い子どもほど数が多い「富士山型」から、Cのように子どもの数と高齢者の数の差が「富士山型」よりも小さい「つりがね型」、Aのように子どもの数が少なくなり、お年寄りの数が多い「つぼ型」へと変わってきています。

4 資料ア・イと略地図を見て、次の問題に答えましょう。

【資料ア 日本の資源の輸入率】

資源	石油	石炭	天然ガス
割合	99.6%	99.2%	96.3%

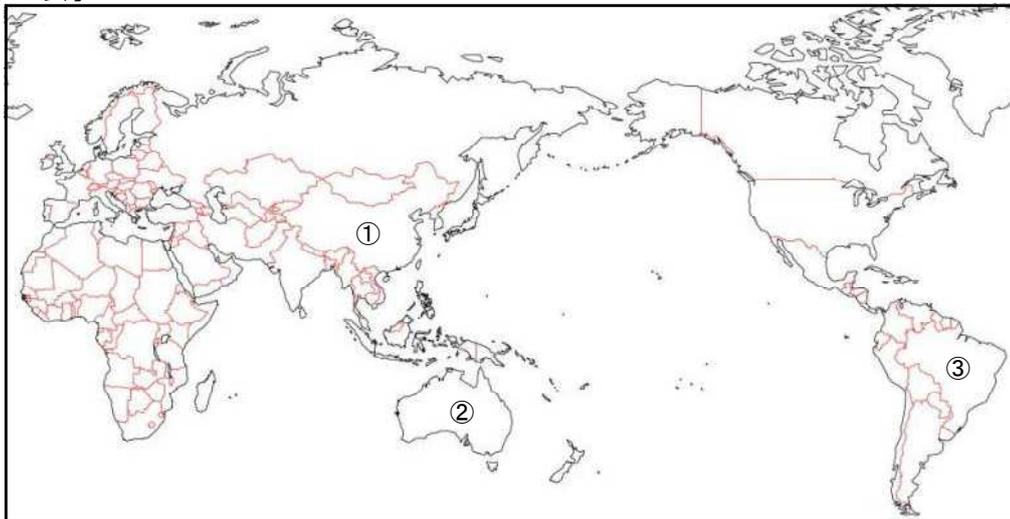
(「資源・エネルギー統計年報2008年版」から作成)

【資料イ 人口および人口密度、産業別人口の割合】

項目 国	人口 (億人)	人口密度 (人/km ²)	産業別人口の割合 (%)		
			第1次産業	第2次産業	第3次産業
A	0.22	3	3.4	21.2	75.4
B	1.27	343	4.2	26.8	69.0
C	1.96	23	19.3	21.4	59.3
D	13.47	140	44.3	17.8	37.9

(「日本国勢図会2013/14」「ILO統計2002～2008年」から作成 第三次産業には分類不能を含む)

【略地図】



(1) 資料アから分かることを、次の2つの語句を用いて簡単に説明しなさい。
「鉱産資源」「輸入」

我が国は石油や鉄鉱石などの鉱産資源に恵まれていないため、消費する資源の大部分を海外からの輸入に依存しています。

8 (例) 石油や石炭、天然ガスなどの鉱産資源のほとんどを海外からの輸入にたよっていること。

資料イのA～Dには、日本および略地図の①～③の国のいずれかが当てはまります。日本をA～Dから選びなさい。また、表から読みとれる日本の産業別人口の割合を簡単に説明しなさい。

9 (記号) B

10 (説明) 第3次産業の人口が7割を占め、第1次産業の人口の割合が低い。

第二次世界大戦前は、日本の半数近くの人々が第一次産業で働いていましたが、戦後の経済成長とともに、第二次産業、第三次産業の割合が増えました。

10問中